

編集後記

幼い子ども(0歳, 3歳, 5歳)のいる我が家ではいつも就寝前に絵本の読み聞かせをしています。絵本は図書館や幼稚園で借りてきた本なので, 毎日新しいお話です。最近, 絵本を読んでいて新事実に気がつきました。イチゴやメロンは野菜で, 栗は果物。この絵本の分類によると, 野菜は土になるもの, 果物は木になるものだそうです。私はイチゴやメロンは果物, 栗はどちらかといえば野菜と思い込んでいました。野菜と果物の違いは意外と知られていないのではないのでしょうか。

農林水産省のホームページを調べると, 「園芸学では, 木の実(木本性)は果物(果樹), 草の実(草本性)は野菜と分類します。草本性であるいちごは野菜。また, 農林水産省の作物の統計調査でも野菜に含まれています。ただし, 実際は果物と同じように食べられていることから「果実の野菜」とも呼ばれています。」とありました。

上記の野菜や果物の定義はあくまで農林水産省のもの

で, 総務省の家計調査ではイチゴは果物に分類されています。一般的には野菜と果物には明確な定義がないようです。実際に, 生産者と消費者の立場から見ると, 生産者にとって野菜であるイチゴやメロンが消費者にとっては果物に変わります。消費者としての立場の私にとってはイチゴやメロンは果物という認識は間違いではなかったようです。それにしても, 立場や視点によって野菜や果物の見方が変わるのには興味深いです。

野菜と果物の認識の違いのように, 一方的な視点から思い込んでいた自分の認識が, 別の視点では全く違うものになることに気づかされました。研究においても, 実験結果が想定外の結果になって何らかのミスや実験装置の不具合を疑うことはよくありますが, 実験結果は嘘をつきません。そういう場合はもともとの想定が正しいのか, 視点を変えてみると解ることもありますし, 新しい発見があるかもしれません。これからも多角的な視点を意識して研究に取り組んでいきたいと思います。(枝尾祐希)

プラズマ・核融合学会 役員

| | |
|--------------------------|---------------------------------|
| 会 長: 竹入康彦 | 米田仁紀 (推薦委員長: 研究助成, 男女共同参画委員長) |
| 副 会 長: 上田良夫 (研究部会連絡会委員長) | |
| 常務理事: 市口勝治 (総務委員長) | |
| 理 事: 渥美寿雄 出射 浩 (編集委員長) | 井 通暁 大勢持光一 (財務委員長) |
| 大原 渡 金子俊郎 | 村上 泉 横峯健彦 (年会運営委員長) |
| 木戸修一 兒玉了祐 (企画展示検討委員長) | 白藤 立 (企画委員長) 花田磨砂也 (推薦委員長: 学会賞) |
| 林 伸彦 (広報委員長) 藤田隆明 | 渡邊隆行 (支部・地区研究連絡会委員長) |
| 監 事: 立松芳典 前田達志 | |

プラズマ・核融合学会 領域長

基 礎 井 通暁(東大) 応 用 渡邊隆行(九大) 核融合プラズマ 藤田隆明(名大) 核融合炉工学 上田良夫(阪大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ: 出射 浩(九大) 副委員長: 村上 泉(核融合研)
エディタ: 古閑一憲(九大), 比村治彦(京都工繊大), 波多野雄治(富山大), 重森啓介(阪大), 藤田隆明(名大), 村上定義(京大)
編集委員: 安部勇輝(阪大), 諫山翔伍(九大), 市原大輔(名大), 井戸 毅(九大), 占部継一郎(京大), 枝尾祐希(量研), 大宅 諒(九大), 勝川行雄(国立天文台), 川手朋子(核融合研), 佐久間一行(弓削商船高専), 佐々木渉太(東北大), 佐藤直木(東大), 神藤勝啓(原子力機構), 鈴木陽香(名大), 關 良輔(核融合研), 高橋宏幸(東北大), 竹崎太智(富山大), 田中 学(九大), 辻井直人(東大), 中村 誠(釧路高専), 畑 昌育(量研), 福本正勝(量研), 藤原 大(NTT), 前山伸也(名大), 森田大樹(宇都宮大), 矢嶋美幸(核融合研)

乱丁・落丁本は, ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第98巻第12号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2022年(令和4年)12月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。